

# たきの通信

Vol.3



## 骨粗鬆症の診断

こつそしょうしょう

骨粗鬆症の診断は、腰や背中などの痛みがある方、検診での要精検者などを対象に、①医療面接(病歴の聴取)、②身体診察、③画像診断、④血液・尿検査を行い、ついで⑤骨評価(骨密度測定)後、⑥鑑別診断を行います。

①医療面接および②身体診察に関しては、「たきの通信 Vol.2」の骨粗鬆症セルフチェックが主な内容となっております。ご覧になりたい方は、こちらのQRコードを読み込んでください。



バックナンバーはこちら↑  
(クリニックのHPよりご覧いただけます。)

腰や背中が痛くなる疾患は、腰椎症

や脊柱管狭窄症、変形性脊椎症、

椎間板ヘルニア等がありますが、骨粗鬆症に伴う椎体骨折が考えられる場合もあります。痛みの原因が何か、除外するために③画像診断(レントゲン・MRI)を行います。

④血液・尿検査で、自分の身体の体質を調べます。当院では血液検査のみ行っています。

⑤骨評価で「骨密度」を調べます。骨粗鬆症は、骨の「強度」が低下して「骨折」をしやすいなる病気です。骨の「強度」は、70%が「骨密度」で決まり、30%が「骨質」といわれます。「骨質」を簡単に調べる方法はまだ確立されていませんが、「骨密度」は正確に測ることができません。当院では、腰椎と大腿骨で検査します。

これらの全ての情報を得たうえで、医師が診断していきます。

## 骨密度の測定方法

骨密度の測定方法は、3種類あります。①手軽に測れる腕や手の骨での測定や、②かかとの骨で測定する超音波法(QUS)が使われることが多いですが、精密検査では、③背骨(腰)や脚の付け根(大腿骨)の骨密度を、

大型の機械で測定するデキサ(DXA)が進められます。

当院では、このデキサを使用し、検査を行っています。検査結果も当日お伝えできるので、ぜひ当院で骨密度測定を行ってみませんか？

	DXA (X線検査装置)	QUS (超音波)	RA (レントゲン写真)
検査部位	<p>ようつい 腰椎 だいたいこつ 大腿骨</p>	<p>しょうこつ 踵骨</p>	<p>ちゅうしゅこつ 中手骨</p>
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>精密検査として行われる</li> <li>2か所検査するためより正確な結果を得られる</li> <li>骨粗鬆症の治療効果が現れる骨での検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手軽に測定できる</li> <li>X線を使用しないため被爆しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>X線撮影装置で測定できる</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>背骨の圧迫骨折がある人や血管が硬くなり石灰化している人は、実際より高い数字が出てしまう</li> </ul> <p>↓ その場合、大腿骨で検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXA(左)と比べて精度低い</li> <li>かかと骨折をしたことがある人は、実際より高い数字が出てしまう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXA(左)と比べて精度低い</li> <li>手の甲の骨折をしたことがある人は、実際より高い数字が出てしまう</li> </ul>

当院ではこちら↑

たきの整形外科クリニック

〒920-0003 石川県金沢市疋田2丁目46番  
TEL: 076-258-9777 FAX: 076-258-2408

骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年度版  
骨粗鬆症財団 骨粗鬆症情報誌カノープス Vol.4  
メディックメディア 病気が見える 運動器・整形外科 引用